

令和元年第2回燕市議会定例会
一般質問日程表

質 問 日		質 問 者			質 問 方 式	
					一 括 質 問	一 問 一 答
6月18日(火)	午前	1	堀 勝重 議員		○	
	午後	2	樋浦 恵美 議員		○	
		3	大岩 勉 議員		○	
		4	柴山 唯 議員		○	
19日(水)	午前	5	土田 昇 議員		○	
		6	田澤 信行 議員		○	
	午後	7	渡邊 広宣 議員		○	
		8	柳川 隆 議員		○	
		9	中山 眞二 議員		○	
20日(木)	午前	10	小林 由明 議員		○	
		11	埴 豊 議員		○	
	午後	12	山崎 雅男 議員		○	
		13	宮路 敏裕 議員		○	
		14	齋藤 信行 議員	○		
21日(金)	午前	15	長井由喜雄 議員		○	
		16	タナカ・キン 議員		○	

令和元年第2回燕市議会定例会「一般質問表」

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
1	堀 勝重 (一問一答方式)	1. 第2次燕市総合計画について	(1) 基本的方向と基本目標について	①総合計画での当市の目標人口を、平成34年、令和4年の時点において、78,000人と設定されたところではありますが、社人研の人口推移では75,571人となっております。当初設定された目標値78,000人について、現時点においてどのような考えでおられるのか伺います。
			(2) 戦略別計画について	①定住人口増戦略について ②活動人口増戦略について ③交流応援(燕)人口増戦略について これら3つの人口増戦略の、平成28年から30年まで3年間の取組実績及び成果等について伺います。
		2. 安心安全なまちづくりについて	(1) 中ノ口川の洪水対策について	①平成30年6月議会において、中ノ口川の河川区域内における雑木の伐採処理等についての質問に対し、前向きな答弁をいただきました。その後どのような対応をされたのか。また、今後の雑木伐採の予定等について伺います。
2	樋浦 恵美 (一問一答方式)	1. 高齢者施策について	(1) 高齢者へのごみ出し支援について	①少子高齢化や核家族化に伴い、足腰が弱い高齢者にとっては、自分でごみを回収場所に出せることができなくなるなどの問題も増えることが予想されます。 高齢者へのごみ出し支援を行っている自治体もありますが、燕市における高齢者のごみ出しの実態や、支援の状況について伺います。 ②高齢者のごみ出しについて、燕市としてどのように対策を講じていかれるのか伺います。
			(2) 特殊詐欺対策について	①燕市では、振り込め詐欺や、悪質な電話勧誘などの被害から高齢者を守るため、警告メッセージ付き通話録音装置を、無料で貸し出すモニター事業を行ってまいりましたが、通話録音装置モニターの受け付けを平成31年3月31日で終了しました。貸与した台数と市民の反応について伺います。 ②燕市での平成30年度の特種詐欺被害の発生状況について伺います。 ③市民の大切な財産を守るため、特種詐欺被害防止の対策について伺います。
		2. 災害時の備蓄品について	(1) 乳児用液体ミルクについて	①母乳に近い栄養素が含まれ、常温で約半年から1年間保存できる液体ミルクが、国内での製造が認められ、本年3月から販売が開始されました。 液体ミルクは、お湯の確保が難しい災害発生時でも乳児に飲ませることができ、避難所での活用が期待されます。 液体ミルクを災害時の備蓄品に導入する自治体では、食品ロスを防ぐために、賞味期限が近づいたミルクは、保育園での日常の保育などで使い、使った分を補充していく「ローリングストック」の手法を活用することにしていきます。燕市でも、液体ミルクを災害用備蓄として活用を進めるべきだと思いますが、市の考えを伺います。

発言の順序	発言する員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
3	大岩勉 (一問一答方式)	1. 市長の政治姿勢について	(1) 燕市の将来構想を考えた施策について	<p>① 市長とのふれあいトーク、開催会場には参加者の中に若い世代で「中学生・高校生」の参加者はどのくらい参加されていたのか伺う。</p> <p>② 市内の中学校・高等学校に出向き、燕市の産業・農業の現状と地場産業界の求人難、看護師不足の現状と、将来、燕市の経済が浮上するか沈むか、飛躍に向けた期待を込めて講義し、これからの市内企業の就職につながる内容を含んだ説明をする機会に、市長自ら出向いてみてはどうか伺う。</p> <p>③ 県立吉田病院は3年連続の赤字決算、魚沼基幹病院は経験豊富な看護師不足から、病室の全面稼働ができず4年連続の赤字決算です。 県央基幹病院の開設に向け、燕市として市長が率先して「乾坤一擲」官民連携し、燕市長として何をすべきか検討、最大限の努力行動するべきでないか伺う。</p> <p>④ 市長の定例記者会見・報道発表事項では、イベント関連ばかりが多く、燕市における今後の医療機関整備に対する項目がなぜか見られないが理由を伺う。</p>
		2. 燕市内のまちづくりと美観整備について	(1) 燕市内のまちづくりと美観整備について	<p>① 所有者不明地を地域で公益活用できるようにする「特別措置法」がスタートします。地方自治体のほか、企業やNPOなども土地を活用できるようになりますが、燕市として取り組む考えはないか伺う。</p> <p>② 燕市では現在、所有者不明の放置されている土地確認がどこの部局で調査確認されているのか伺う。</p> <p>③ 市内道路のいたるところにガードレール・フェンスなどの損傷が今年は特に多くみられます。原因は、除雪車作業によるものと確認されるものが多くあります。 修理修繕は燕市が行うものなのか、除雪業者による瑕疵担保で行う修理修繕なのか伺う。</p>
		3. 学校教育について	(1) 交通安全教育について	<p>① 燕北中学校でスタントマンによる交通安全教室が開催されたが、同様な教室は市内の他、小中学校でも開催されているのか伺う。</p> <p>② 交通安全教室後、生徒のマナーは改善されたのか伺う。</p> <p>③ 小中学生が交通事故や事件に巻き込まれる事件が全国的に勃発しているが、燕市の教育委員会としての取り組みを伺う。</p>
			(2) 中学校の部活動の在り方について	<p>① 「部活動生向けにスポーツ食育セミナー」を、燕市のホストタウン推進の一環として開催されたが、参加者数と参加された中学生・高校生・指導者・保護者数を伺う。</p> <p>② 運動部の顧問・監督で指導されている種目を未経験者が担当している部は、市内5中学でどのくらいあるのか、教員OBに指導協力依頼要請はされているのか伺う。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
4	柴山 唯 (一問一答方式)	1. 燕市の安心安全について	(1) 保育園・幼稚園・こども園における安全点検や交通安全の取り組みについて	① 燕市内の保育園・幼稚園・こども園において、どの程度の頻度でお散歩を実施して、その際にどのような安全対策を講じているのか。 ② 保育園・幼稚園・こども園の交通安全点検の実施や、その結果に基づいた具体的な交通安全対策の実施等はどのようになされているのか。 また、安全点検を実施しているのならば、その結果どのような内容があったのか。 ③ 各保育施設の交通安全対策等は、保護者とどのように共有されているのか。
			(2) 高齢者の交通安全について	① 燕市の高齢者運転免許自主返納支援事業を2014年7月から開始したが、免許返納者の申請数にどのような影響があったか。 ② 高齢者の自主返納をさらに促すために、助成の拡充を求めたいがいかがか。また、生活交通網を急ぎ整えるべきではないのか、市の考えを伺う。
		2. 道の駅国上のトイレについて	(1) 道の駅国上のトイレについて	① 燕市の公園などで特に近年新しくなったトイレには、汚れた服を着替えるためのフィッティングボードが備わっている。道の駅国上も屋内と屋外ともにトイレが新しくなった。しかし、ここにはフィッティングボードは設置されていない。なぜ設置しなかったのか。また、今後設置するのかどうか、市の考えを伺う。
		3. 大河津分水路改修事業における分水西部地区土地改良事業について	(1) 大河津分水路改修事業における分水西部地区土地改良事業について	① 大河津分水路改修事業において生じる掘削土砂を活用し、低平地状となっている分水西部地区の圃場の盤上げを行い、盛土後に再度区画整理を行うことで区画の拡大による機械の効率的利用、農作業の省力化及び経営の安定化を図るという計画があるが、この事業の進捗状況を伺う。
		4. 燕市の市有地について	(1) 市有地の維持管理、今後について	① 普通財産の市有地は多くあると思うが、維持管理に毎年どのくらいの予算が使われているのか。 ② 今後、燕市建物系公共施設保有量適性化計画により、より使われなくなる建物・土地が増えるが、普通財産の市有地も含め、その売却方法や利用方法についてはどのように考えているのか市の考えを伺う。
5	土田 昇 (一問一答方式)	1. 高齢運転者の事故について	(1) 運転免許証の自主返納について	① 4月19日に東京池袋で、3歳の女の子と31歳の母親が暴走してきた乗用車にはねられ命を断たれた。運転していたのは87歳の男性だったと大きく新聞、テレビで報道されました。その後、妻と長女を亡くした夫は24日の記者会見で「一瞬で未来は奪われてしまった」と涙をこらえながら語っていました。さらに、少しでも不安がある人は運転しないという選択肢を考え、家族内で考えてほしいと訴え、社会全体で議論し犠牲者が減ることを切望した。その発言を重く受け止め、運転免許を自主返納しやすい社会の実現に取り組まなければならないと大きく報道されました。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
5	土田昇 (一問一答方式)	1. 高齢運転者の事故について	(1) 運転免許証の自主返納について	<p>① 私たちの燕市では 2018 年度は 60 歳から 90 歳代で 334 人が免許証の自主返納をしていますし、タクシー、きららん号、スワロー号の利用券を 1 万円以内で支援していますが、高齢者の方々が現在よりもっと多くなってくると思います。今後の見通しと対応について伺います。</p> <p>② 買い物や通院など、日々の暮らしにマイカー運転は欠かせないという高齢者の方々は少なくないと思います。車を手放した後の不安を解消し、自主返納しやすい環境を整備しようと、県内 30 市町村は 75 歳以上の高齢者向けの生活相談支援を行っているが、市の相談内容と件数はどのようなになっているのか伺う。</p>
		2. 市役所庁舎免震、制振オイルダンパーの対応について	(1) 設計業者、施工業者の説明はどうか	<p>① 平成 30 年第 4 回と平成 31 年第 1 回の一般質問で、市役所庁舎免震、制振オイルダンパーの不正について伺いました。そのときの総務部長の答弁ではこのように答弁しています。</p> <p>「市といたしましても、業者のただ報告待ちということではなくて、実際に呼んで、断固抗議をしたところでもあります。本庁舎は議員ご指摘の通り燕市の防災拠点の機能を担う極めて重要な施設であるというところから、このたびの件で庁舎の安全性及び信頼性が損われた。市民の皆様には不安と失望を抱かせたことに対して、強い憤りも覚えているところでありまして、大変危惧しております。これからも強い態度で一日も早い交換を求めて設計、施工業者とも連携しながら進めてまいります」と答弁されましたが、それ以後どのような状況になっているのかを詳細に伺います。</p>
		3. 子どもの貧困対策について	(1) 県弁護士会と協定内容について	<p>① 燕市は 4 月 26 日に県弁護士会と子どもの貧困対策に関する連携協定を結んだと報道されました。今回結んだ協定により、県弁護士に対策会議への出席や、職員向けの講習の講師派遣などで協力を求めるとしていますが、福祉関係者、民生委員等々幅広く参加していただいたほうが良いと思いますがその見解について伺います。</p>
		4. 下水道問題について	(1) 旧燕地区の下水修理について	<p>① 5 月 10 日の産業建設常任委員会の視察の中で、西川流域下水道の概要では処理能力でまだ余力があると思うが、今後の計画について伺う。</p> <p>② 旧燕地区の下水処理場の維持、管理費等々について今後の見通しと対応について市長の見解について伺う。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
6	田澤 信行 (一問一答方式)	1. 教育現場のデジタル化について	(1) プログラミング教室事業について	<p>①プログラミング教育は、2020年度に小学校で必修化されるものですが、先月28日に文部科学省が2018年度の取り組み状況の調査報告を公表しました。その結果、すでに授業を実施している教育委員会は52.0%ありましたが、燕市の実態はどうか。また、今年度、プログラミング教育の一貫として、小型自律動作ロボットのプログラミング教室事業を計画しておりますが、本事業の詳細と狙いについても伺います。</p> <p>②当初予算概要で、燕ロボット・プログラミング教室事業は、対象者を小学校5～6年生の20名と限定されており、それ以上の場合は抽選を行うと記載されておりました。仮に来年度から必修化されるプログラミング教育の一環として取り組むのであれば、希望者全員に機会を与えるべきと考えるがいかがでしょうか。</p> <p>③文部科学省が言っているプログラミング教育の必修化とは、具体的にどのようなプログラムを指しているかを伺います。</p> <p>④来年度、小学校で必修化されるプログラミング教育に向けての教員の育成をどのように考えているか伺います。</p>
			(2) ICT教育推進事業について	<p>①ICT教育で既に電子黒板やタブレットを導入している学校の具体的な活用方法と実態について伺います。</p> <p>②ICT教育においては、通常の教員のほかに専門スキルを有したICT支援員のサポートが必要だと思っておりますが、燕市ではどのように対応しているか伺います。</p> <p>③ICT教育のデメリットとして、機器(電子黒板、タブレット他)の不具合があると思っておりますが、不具合があった場合の対応について伺います。</p>
			(3) 職員の育成について	<p>①ロジカルシンキング(論理的思考)が求められる環境変化に対して、市の職員に対する教育プログラムがあるのか伺います。</p>
7	渡邊 広宣 (一問一答方式)	1. 市内企業の景気動向について	(1) 業績見通しについて	<p>①2019年3月期と2020年3月期の業績見通しと見立てについて伺う。</p> <p>②米中貿易摩擦による市内企業への現時点と今後の影響について伺う。</p> <p>③これらに対して市が取りうべき施策を伺う。</p>
			(2) 新規(新卒)採用の現状について	<p>①2019年4月入社の実績と2020年新規採用活動状況を伺う。</p>
		2. 県知事の財政「緊急事態」発言について	(1) 県知事の財政「緊急事態」発言について	<p>①発言に対する市長の素直な考えを伺う。</p> <p>②不測の事態に備うべき基本認識を伺う。</p>
		3. 人口減少対策について	(1) 人口減少対策について	<p>①地方統一選挙において重要な争点に人口減少対策が上げられた。一部、自治体に人口誘致合戦が見られ、又、人口交流対策も地域間競争も激化している。市長の基本的認識を再度伺う。</p> <p>②基本認識のもと、国・地方・地域の役割・責任の在り方を伺う。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
8	柳川 隆 (一問一答方式)	1. 教育委員会行政について	(1) アスリート弁当のこと	<p>① 昨年3月の定例会における同僚議員の一般質問に対して当局は、「平成28年度の市内で開催された156の屋内外のスポーツ大会に参加した選手1万9,022人の5割約9,500人がアスリート弁当を購入したと仮定し、弁当の税込み販売価格を700円として、およそ665万円と算出した」と答弁しているが、昨年度一年間の実績は2,996個で約210万円。665万円の3分の1にも満たない、この数字をどう思っているか伺う。</p> <p>② 主な発注先の上位5位の内訳(団体名、注文数、大会名等)を伺う。</p> <p>③ 同じく昨年3月の定例会で、当局は「受発注業務について、体育協会の中にスポーツコミッションに相当する部門をつくることを計画し、そこに申し込んでいただく。その業務のため、地域おこし協力隊の方を募集中」という答弁をされているがその人員の実績について伺う。</p> <p>④ 昨年2月27日付けで市は調理協力店を募集というチラシを作成し、そこには3店が掲載されているが、その後の進展について伺う。</p>
			(2) 図書利用のこと(新潟市との広域利用を含む)	<p>① 昨年度は一昨年度に比べ、入館者数、貸出利用者数、貸出冊数いずれもマイナスだがこの原因について伺う。</p> <p>② 昨年度から始まった新潟市との広域利用で、燕市から新潟市民へと、逆に新潟市から燕市民への図書貸出冊数の昨年度の総数を伺う。</p> <p>③ 同じく、燕市民が新潟市の図書館へと、逆に新潟市民が燕市の図書館への新規登録者数の昨年度の総数を伺う。</p>
9	中山 真二 (一問一答方式)	1. お金の使われ方について	(1) ふるさと燕応援寄附金について	<p>① ふるさと燕応援寄附金の使い道が、一般財源化されている部分が多くなっている。いつなくなるかも知れない寄附金を一般財源として使うなら、もっと明確にしておくべきではないか。</p> <p>② 寄附金らしい本来一般財源でできないようなことに使っているか。米百俵の精神のような、歴史に残るものに使うのが本来の使命ではないか。</p> <p>③ 寄附をした人に対し、具体的にどういうことに使っているか、使い道を示した人への説明はどうなっているか。</p>
			(2) 寄附文化の普及、優遇策、募集について	<p>① 燕市に愛着を持ち、寄附をいただいている方は多いが、具体的に、燕市内クラウドファンディングのような何をするか決めての募集もあって良いのではないか。</p> <p>② 夢基金とあるが、具体的な夢はあるのか。漠然とした感がある。今回の小学校のエアコン設置のような具体的な夢を示すべきではないか。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
9	中山 眞二 (一問一答方式)	1. お金の使われ方について	(2) 寄附文化の普及、優遇策、募集について	③夢基金の夢を検討している機関、またアンケートなど取っているのか。 ④寄附に対する優遇策、または感謝の気持ちをどのように示しているのか。 ⑤燕市の永遠のテーマとなるような事、物への投資に中途半端ではなく、何年もかけて、せめて県内随一の施設を考えてはどうか。
			(3) 予算獲得と執行後の対応について	①予算審査、獲得までの行政は、丁寧であるが、獲得した予算の執行、またその効果について行政はおざなりに感じる、PDCAのチェックを厳しくするべきではないか。
		2. 産業について	(1) 農地転用について	①農振除外の状況について ②場所を決めて農地の価格交渉ではなく、価格に合う農地の提供を求めているかがか。 ③農地を売りたい人の、希望価格と面積の調査はしているか。
10	小林 由明 (一問一答方式)	1. 移住定住促進の取り組みについて	(1) 移住定住促進事業の、その先の課題について	①自治会は住民の生活に最も密接な地域コミュニティーである。 移住定住者は、燕市への転入後、原則任意である当該地域の自治会へ加入し、地域社会へと入り、それぞれの生活を始めることになるが、「自治会費の算出根拠が不明」「自治会費の使途が不明瞭」「様々な寄付の徴収が当然のように行われる」「地域慣習が当然に押し付けられる」「ゴミ当番では1時間もの拘束があり、仕事に支障をきたしている」「広報紙を届けてもらえない」などの、地域生活での悩みを抱えているとの声が届いている。 燕市の子育て施策など、市の様々な取り組みを評価して移住される方がいる中で、実際に移住して後、こうした地域生活での問題に直面し、暗澹たる思いをお持ちの方たちがいる。 移住定住を進める中であって、こうした声が世間に発信されてしまうことで、燕市の評価を下げることにつながることは想像に難くない。 移住定住をはじめ、各種取り組みのブラッシュアップのためにも、移住定住の取り組みを始めて以降の移住定住者へのヒアリングを行うなど、移住定住促進事業の先にある様々な課題の把握と分析を行ってはいかがか。
			(2) 自治会や、まちづくり協議会との移住定住促進のための連携について	①移住定住の取り組みといえば、全国的にみれば自治会などの地縁組織の自発的な取り組みが見られるようになってきてはいるものの、燕市も含め多くの自治体では、地縁組織の活動は未だ活発ではない。 移住定住者の生活の現実の多くは、自治会など地域コミュニティーにあるのが実際であることから、自治会などを含む燕市全体での移住定住の取り組みを進めていくべきである。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
10	小林由明 (一問一答方式)	1. 移住定住促進の取り組みについて	(2) 自治会やまちづくり協議会との移住定住促進のための連携について	<p>①新潟市では、地域が主体となって移住・定住の取り組みを行っている地区を「移住モデル地区」に指定し、地域の方々と連携しながら、首都圏などへの情報発信や移住者への支援などを行っている。</p> <p>長野県伊那市では、地域のルールを理解し、トラブルを未然に防ぐ役割を期待して、住民数や世帯数、最寄りの小中学校などの概要をはじめ、自治会入会費や区費の金額、主な年間行事(お祭りや運動会、文化祭、防災訓練等)などが掲載された、移住定住に関心のある方向けの資料として「地域の教科書」を地域住民とともに作成している。</p> <p>たとえばこのような、地域情報の把握、発信など、地域住民が自ら取り組むことのできる活動を刺激し、地域の持つ力を引き出しながら、市全体で移住者歓迎の空気感を醸成するためにも、移住定住者の多い地域や移住者の活動が活発な地域、移住定住に関心ある地域などからモデル組織となっていたりなど、移住定住施策などについて自治会やまちづくり協議会等との連携を進めてみてはいかがか。</p>
		2. 起業創業支援について	(1) 起業創業支援と移住定住支援について	<p>①今般、補正予算が組まれた「未利用店舗活用に対する助成」であるが、事業概要によるとこの制度は、「市内の既設商店街において、小売業などを営む目的で賃貸店舗に入居する小売商業者、又は商店街振興組合及びこれと同等の小売業等を営む組織に対して、当該店舗の改装資金の一部を補助する」ということになっている。</p> <p>未利用店舗の活用を促進するという観点でいえば、賃貸、売買に関わらず当該助成の利用を認めることが有効と思うが、賃貸、売買ともに当該助成の利用ができるよう規程の変更をおこなってはいかがか。</p> <p>②燕市では、マチナカをはじめ、これまでになかった活発な起業活動や移住の形が見られるようになってきている。</p> <p>市では現在、移住定住促進事業における補助金と起業創業支援における助成制度との併用が可能なものがあるが、起業創業も視野に入れ移住定住先を検討している方をターゲットに、併用できるそれら支援制度をパッケージングするなど整理したうえで、PRを行ってはいかがか。</p>
11	埴 豊 (一問一答方式)	1. 財政問題について	(1) 幼児教育の無償化による影響について	<p>①平成 31 年、令和元年においては、消費税増税により園において財源を確保するが、令和 2 年度以降の見通しについて。</p> <p>②元来、幼児教育の園の負担分(公立保育園の場合)地方交付税に含まれており、実状とのかい離が大きいと思われるが、その差異はどの程度と見込んでいるのか。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
11	塙 豊 (一問一答方式)	1. 財政問題について	(2) 臨時財政対策の行方について	①当初地方交付税の不足分を補填する制度であったが、現在でもこの認識に変更はないのか。 ②当初 2001 年から 3 年間の予定であったものが 20 年続き、今後も現状どおり推移していくのか。
		2. 産業問題について	(1) 企業継続について	①今後 4～5 年後に顕著になるであろう事業の廃業について、全国的には GDP のおよそ 41 兆円分にもなる事業廃業時代に向けて燕市で見通し、又法人市民税の減少についての考え方を聞く。 ②人口減少社会において、廃業の食い止めと人手不足の対策について ③燕市産業界の分野別賃金実態の状況と今後の見通しについて
		3. 行財政改革と子育て支援の両立について	(1) 公立保育園の民営化について	①急速に進む少子化の流れの中で公立保育園統廃合や、民営化は急ぐべきと考えるがいかがか。 ②その一方、ゼロ歳から 2 歳時の保育ニーズの高まりにどのように対応していくのか。
(2) バランスの取れた幼保施設へ	①あれもこれもするのではなく、財政面や人口減に対応した施設の在り方や、民営の方向性をしっかり示し、一方でゼロ歳から 2 歳児施設の増設、増床などメリハリのある方向を示すべきではないのか。			
12	山崎 雅男 (一問一答方式)	1. 燕市各小学校で実施する宿泊体験学習について	(1) 宿泊体験学習による活動の魅力と意義について	①自然に親しみ、普段では味わうことのできない様々な体験を通して、自らの身体と心の鍛錬のために移動教室を実施することで、自然体験や集団における役割分担や、仲間意識を育むことの一助と成り得る自然体験学習。 燕市内各小学校 5 年生対象の宿泊体験学習、今年度も取り組み予定のことと思うが、前年度までの取り組み状況と前年度の体験先、期間、参加人数、一人当たりの経費等を伺う。 ②燕市各小学校 5 年生対象で実施する宿泊体験学習で、何を学び、経験を通して子どもたちをどのように成長させるのが重要。体験活動の魅力と教育的意義や課題について伺う。
		2. 不登校児童・生徒の対応について	(1) 不登校児童・生徒への持つべき基本的姿勢について	①燕市内小中学校 20 校の不登校児童・生徒の実情の把握と、どのように分析、取り組まれているのか伺う。 ②各小中学校における不登校児童・生徒に対しての支援の現状と改善方策はどうか伺う。 ③不登校となった子どもへの対応に関して、学校・教育委員会、そして保護者に対しての支援役割、連携を図ることが大切かと思うが、どのように取り組まれているのか伺う。
		3. 若者・中高年の「ひきこもり」の実態把握と社会復帰に向けての支援について	(1) 「ひきこもり」支援対策について	①様々な要因の結果として、社会参加の回避が長期化し、社会生活の再開が著しく困難な「ひきこもり」に対して市としての現状認識について伺う。 ②「ひきこもり」になるきっかけは職場環境に馴染めない問題や病気等の理由が多いと言われ、また不登校児童・生徒全てではないが不登校から「ひきこもり」になるケースも多く、不登校は「ひきこもり」の予備軍とも言われているが捉え方について伺う。 (次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
12	山崎 雅男 (一問一答方式)	3. 若者・中高年の「ひきこもり」の実態把握と社会復帰に向けての支援について	(1) 「ひきこもり」支援対策について	③ 「ひきこもり」に対して現在取り組んでいる対策と支援体制について伺う。 ④ 「ひきこもり」内閣府の無作為抽出調査が3月に公表されたが、結果に基づく現状把握で十分なのかどうか。市独自の調査の必要性や、相談、疾病、生活保護、就労支援等の内容について検討など、今後の施策について伺う。
13	宮路 敏裕 (一問一答方式)	1. 就学援助制度について	(1) 就学援助制度のいっそうの充実施策について	① 28年度～30年度の「就学援助制度」適用率と人数、30年度の適用率において、補足率状況をどう評価、認識しているのか伺う。 ② 「子どもの貧困対策検討会議」が立ち上がり、「就学援助制度」の周知についての検討がなされていると思うが、その上で、周知の強化方針について、伺う。 ③ 文科省は2019年度政府予算で「要保護世帯の就学援助費」について、一部の費目で単価を引き上げた。その内容と本市の就学援助制度の補助単価も国に準じる検討をしたのか、国が新規対象とした「卒業アルバム代補助」の対応を検討したのか、伺う。
		2. 個人情報の保護について	(1) 自衛隊への適齢者情報提供について	① 市民団体「平和と民主・社会進歩をめざす新潟県の会」が県内市町村による自衛隊への「適齢者名簿」提供状況について調査し公表した。本市が防衛省自衛隊新潟地方協力本部の要請に応じ提供している個人情報について、対象年齢、人数、内容、紙媒体による提供となっている経緯について伺う。 ② 要請に応じる法的義務の有無について認識を伺う。 ③ 「燕市個人情報保護条例」との整合性について認識を伺う。 ④ 本市では、「住民基本台帳法」に沿って「閲覧の状況」を公表しているが、その中に新潟地方協力本部への情報提供は反映されているのか伺う。
14	齋藤 信行 (一括質問一括答弁方式)	1. 市政について	(1) 市長のふれあいトークについて	① 今回のふれあいトークはまちづくり協議会の総会などとマッチングして開いたと聞くが、会場によっては昼また夜と時間の違いなどで人数、時間の差などあったか、今までのふれあいトークとはどのような差があったのか伺います。
		2. 教育について	(1) 新教育長の所信について	① 燕の教育の現在について ② 燕の教育の今後について ③ 燕の教育の課題について
		3. 島崎川の水質について	(1) 島崎川の水質改善について	① 水量の少ない時期は臭いがしているというが市は知っているのか伺います。 ② 市として水質調査を実施したことがあるのかも伺います。

発言の順序	発言する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
15	長井由喜雄 (一問一答方式)	1. 会計年度任用職員への転換について	(1) 条例・規則などの制定について	① 来年度から非正規職員が「会計年度任用職員」に変わりますが、条例や具体的内容を決める規則などはいつどのようにして決めていくのか伺う。
			(2) 会計年度任用職員制度移行にあたっての具体的な問題について	① 移行時の採用方法やフルタイム・パートなどへの更新方法、給与、休暇など諸条件はどうなるのか伺う。 ② 職および資格の有無などはどう反映されていくのか伺う。
		2. 幼児教育・保育「無償化」と保育行政について	(1) 10月に行われるという幼児教育・保育の「無償化」について	① 「無償化」で変わる中身と事務負担などは具体的にどのようになっているか。また懸念されることも多いが、市の認識はいかがか。 ② 食材費については現在どのように考えているか。これまで副食を提供することに伴う費用は「公定価格」に含み、保育料として応能負担の原則で徴収しているはずだがどうするのか。食材費補助を新たに実施する自治体も出ている中で、燕市も検討してはいかがか。 ③ 公定価格における保育者の配置が幼稚園と保育園では違っており、これが保育園において公費と実際の保育者配置の違いという問題を引き起こしていると考え。市においてはこの根本に目を向け、国に対して公定価格の統一を求めていくべきではないか。考えを伺う。
			(2) 保育行政について	① 公立の保育園・こども園における非正規職員は何人で何割を占めるか。また無資格者はどうか。これら非正規職員の業務についてはどう規定しているか。さらに保育の専門性についての市の認識を伺う。 ② 国は「保育所等における保育士配置に係る特例」を示しているが、公立保育園においては最低限これが守られているか伺う。 ③ 保育の専門性と障がい児保育についての認識と現状を伺う。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
16	タナカ・キン (一問一答方式)	1. 選挙ポスター掲示場設置業務委託について	(1) 入札における適正価格について	① 春の統一地方選挙で、県議選のポスター掲示場設置業務委託が、平成 31 年 2 月 20 日に指名競争入札で行われている。燕地区・吉田地区・分水地区と、それぞれ地区ごとに入札している。燕地区が予定価格 81 万 4320 円(消費税込)で契約金額 74 万 6496 円(消費税込)。吉田地区が予定価格 110 万 3760 円(消費税込)で契約金額 97 万 2000 円(消費税込)。分水地区が予定価格 90 万 7200 円(消費税込)で契約金額は 90 万 720 円(消費税込)であった。 3 地区それぞれの設置箇所の数と、1 箇所あたりの平均金額はいくらか伺う。
		2. 清掃業務委託料について	(1) 庁舎日常清掃業務委託料について	① この清掃業務は庁舎内のトイレ等で、契約先は福祉関連の事業所である。委託料は平成 30 年度は 387 万 7552 円、今年度は 387 万 5278 円で 2274 円の減額になっている。現在、新潟県の最低賃金は時給 803 円で、前年度の 778 円から 25 円上昇している。働いている人たちの時給について伺う。 ② 委託先の事業所について伺う。 ③ 委託料の減額理由について伺う。
		3. 市の指定文化財について	(1) 国上寺本堂壁画の「イケメン絵巻」について	① 5 月 9 日(木)の新潟日報の県央版に、燕市国上の古刹・国上寺の本堂壁面に「イケメン絵巻」がお目見えした。住職は「若い世代のお寺に対するイメージを変えたい。」こんな内容の記事が写真と一緒に掲載された。 5 月 11 日(土)に確認に行ってきたが、まあ驚いた。寺への階段の所に「イケメン官能絵巻」の看板があったが、「官能」の意味は性的刺激を受けいれるはたらきである。描かれているのは上杉謙信・源義経・弁慶・良寛・酒呑童子の 5 人。この 5 人が空想の世界で交わり、官能的な姿(半裸・裸)を見せている。国上寺は良寛様と深い関係を持つ越後最古のお寺で市の文化財に指定されている。文化財に指定された経緯を伺う。 ② どういったところが評価されているのか伺う。 ③ 市がこの絵の設置を知ったのはいつか伺う。 ④ 昭和 25 年に制定された文化財保護法は文化財を保存し、その活用を図り、国民の文化的向上に資するための法律である。現状変更などの際は届け出を義務化、保存のために必要な一定の行為を制限・禁止している。市は「イケメン絵巻」に対して許可したのか伺う。